



「プラザイムス」は、患者様、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

スイカ割り開催♪

8月8日入居者フロアにてスイカ割りをおこないました。少しでもお祭り気分を味わっていただければと思い、食堂では祭囃子を流しながら行いました。

目隠しをした利用者様が、周りの方々に「右」「左」「もっと前」などアドバイスを受けながら、棒でスイカを割ろうと試みますが難しくなかなか割れません。スイカを目の前にして、持っている棒を思いっきり振り下ろすのですが、どうしても左右にずれてしまいます。



またご利用者様の中には、「俺は赤胴鈴之助だ！」と言いながらカー杯棒を振る方、一度割れなかったのが悔しく3度チャレンジされる方、声を掛けるも「スイカがかわいそう…棒で割るなんて…」とおっしゃる方。なかなか当たらず、最後には目隠しを外してスイカをたたいている方等、様々な利用者様がいらっしゃいました。

次は職員もスイカ割りに挑戦です。利用者様や、他の職員の声援をたくさんもらいながら、試みませんが、意外と当たりません。外してしまうと、『あ〜！』『おいしい〜！』いろいろな声が上がります。たくさんのアドバイスが飛び交い、最後に、棒が見事にスイカに当たった時には大きな歓声が上がっていました。



おやつの中には、衛生面を考慮し、あらかじめ冷やしておいたスイカを提供させて頂きました。夏ならではの味覚を皆さんとても美味しそうに召し上がっていらっしゃいました。



介護福祉士 浦野 玲子

オリンピック観戦



7月23日より新型コロナウイルスの影響により1年越しの東京オリンピックが開催されました。まだまだ終息する様子がなく賛否の声があるかもしれませんが、開催したからには日本人選手に頑張ってもらいたいですよね。

オリンピック開催期間中、施設内でも毎日ご利用者様方がテレビ前に集まり観戦をされていました。



中でも人気だった競技は水泳や卓球、柔道等が人気でした。応援理由はご自身が昔やっていた。お孫様がやっているといった理由でした。

日本人選手が勝利をすると皆様で手を叩かれ「おおー！」「いいぞ！」と声上がり選手からパワーを貰っているように感じました。柔道の阿部選手、兄妹揃っての金メダル獲得ニュースをみたご利用者様は「兄妹で金メダルなんてホントに凄い。日本人の誇りよね。」と称賛されていました。個人的には野球を応援していたので初めての金メダル獲得はとても嬉しく勇気を貰いました。皆様はどの種目を応援していましたか？

日本のメダル獲得数は『金27 銀14 銅17と計58個』世界で3番目の獲得メダル数だそうです。凄いですね！オリンピック後は高校野球もあるのでそちらの方もご利用者様方と応援していきたいと思います。



介護福祉士 川内 萌 根岸 智也

9月行事予定

運動会(風船バレー)

9月18日(土)

(デイケア)

9月19日(日)

(入所フロア) お楽しみに！！



【編集後記】 つい最近まで、猛暑が続いていましたが、朝晩となんとなく、涼しく感じるようになってきました。秋が近づいてきましたね。かと思えば、天気予報では今週あたりに30℃を超える日があるとか、ないとか…?! 気温の変化が激しい為、体調管理に注意していきましょう!!!

ウエストケアセンター広報委員会一同

発行元 介護老人保健施設ウエストケアセンター

発行年月日 令和三年九月六日

〒192-0151 東京都八王子市上川町 2135

TEL:042(654)5511

Fax:042(654)7716

<http://www.ims.gr.jp/west-hp/>

皆様により良いサービスを提供する為…

内部研修を行っています！

皆さんはご家族の介護をする上で、困ったことや疑問に思ったことはありませんか？介護現場で働いている私たちも日夜そういった問題にぶつかることがあります。

当施設では、「“虐待行為”を行わない」、「感染症予防のために”菌を持ち込まない、持ちださない、広めない」、「利用者様に怪我をさせない為の“危険予知”」など、『利用者様に提供するサービスの質向上のために、職員の知識・技術の向上』を目的に日々研修を行っています。

例年では講義形式での研修を行っていましたが、しかし、昨今ではコロナウイルス感染症拡大が深刻な問題となっています。そのため、昨年より書面による研修に切り替えて実施しています。コロナウイルスに関する研修では予防に関する知識を深め、小テストにて職員一人一人の理解度を確認しました。今年度予定されている内部研修は以下の通りです。



4月	介護保険制度	10月	感染症②
5月	事故予防①	11月	接遇
6月	感染症①	12月	身体拘束・虐待防止②
7月	身体拘束・虐待防止①	1月	セクシャルハラスメント・パワーハラスメント
8月	褥瘡	2月	事故予防②
9月	看取り	3月	成果・事例・研究発表会、認知症

感染症対策などの研修会を行なったことで、当施設では未だにコロナウイルスによるクラスターは発生していません。これは研修により職員一人一人の知識が身に付き、身に付けた知識を実践することができたからであると思います。



また、褥瘡（床ずれ）に関する研修を行ったことで年々褥瘡になる利用者が少なくなり、褥瘡になってしまっても早期回復が図れるようになってきました。

研修の際には毎回アンケートをとり、研修自体の質の向上に努めています。なお、職員の意見を取り入れながら今後は”介助方法（ポジショニング、体位交換、オムツ交換、移乗、食事介助など）“、“認知症ケア”、“ターミナルケア”、“介護保険制度について”などの研修も行い、提供するサービスのより一層の向上に努めていきます。

理学療法士 山中 遼太



訪問歯科診療(あすなる歯科)のご紹介

ウエストケアセンター(入所施設)では歯の治療が必要な方の為に、訪問歯科が週2回来てくださっています。訪問歯科診療は歯の治療だけではなく、口腔内の清潔を保つ為になくてはならない存在です。今回、感染症対策もふまえ、あすなる歯科さんにお話を伺ったのでご紹介いたします。

Q. 訪問歯科はどんな事をしているのですか？

A. ご自宅で寝たきり、介護施設等にご入所されていて、歯科医院に通院が困難な方を対象に歯科医師や歯科衛生士がご自宅や施設にお伺いをして、歯科治療や口腔ケアを行います。

Q. ウエストケアセンターにはいつから来ていますか？

A. 平成30年7月よりご訪問させて頂いております。



Q. あすなる歯科さんが行っている感染症対策はどんなものがあります？

A. すべてのスタッフが新型コロナワクチン接種を2回終了しています。検温、手指腕の洗い、消毒、うがい、使い捨て手袋、マスク、フェイスシールドの着用、器具の滅菌、消毒、換気をしっかり行い、施設内にウィルスを持ち込まないようにしております。



Q. 歯科治療や口腔ケアの時、どんなことに気をつけていらっしゃいますか？

A. 口の中にはたくさんの細菌が繁殖しています。我々が細菌を運ばぬよう手指、歯ブラシなどの用具の清潔の徹底、歯科治療、ケアの際の出血について止血確認後の消毒、歯面清掃の操作性向上を図る、義歯の清掃、調整、新製で細菌の繁殖を防ぐ等を気を付け、心掛けております。



Q. 口腔ケアは感染症にも効果があるのですか？

A. 口腔ケアの目的は、お口の中を清潔に保つことだけではありません。口の中が清潔に保たれていないと、肺炎の原因となる細菌がより多く増殖し、誤嚥性肺炎を発症するリスクが高まります。細菌性の肺炎と、新型コロナやインフルエンザなどのウィルス性の肺炎が併発してしまうと、重症化するリスクが高まります。日々の歯ブラシなどのセルフケアに加え、歯科衛生士によるプロの口腔ケアを行う事で、セルフケアでは落とすきれない汚れを落としてお口の中にいる細菌を減らし、感染症の予防をしていきます。

Q. ウエストの利用者様やご家族様にメッセージをどうぞ！

A. 我々、スタッフ一同、健康はお口からをモットーに訪問歯科診療に取り組んでおります。いつまでも美味しいお食事がご自身の歯で食べられるようにお手伝いしたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

